



表-6. 20. 1. 31 景観資源の状況（安部オール島）

資源調査地点		2、13、18、19、27、28、29、30
普遍価値	視認性	調査範囲内（陸域）で、可視率 25.4%。
	力量性※1	面積 0.07km <sup>2</sup>
固有価値	固有性※2	琉球石灰岩で形成され周囲が切り立った形状を有する <sup>注)</sup> 。
	歴史性※3	古くは葬所であったと考えられており、島自体が神聖な場所と捉えられている。
	郷土性※4	また、戦後アメリカ人牧師がヤギの放牧を試み <sup>注)</sup> 、現在でも数頭がみられる。
	親近性※5	現在は主に釣り場として親しまれている。
 <p>カヌチャベイホテル&amp;ヴィラズから撮影 H20/7/29/07:33</p>		 <p>辺野古崎から撮影 H20/8/1/12:00</p>



注)「沖縄大百科事典」(昭和 58 年 5 月、沖縄タイムス社)

表-6. 20. 1. 32 景観資源の状況（瀬嵩区のフクギ、モクマオウ、ホルトノキ）

資源調査地点		7
普遍価値	視認性	調査範囲内（陸域）で、可視率 4.0%。
	力量性※1	樹高：フクギ 17.0m、モクマオウ 12.5m、ホルトノキ 13.0m
固有価値	固有性※2	2本のフクギが並んで生育している。 モクマオウとホルトノキは現在は無い。
	歴史性※3	フクギが生育している場所は元々拝所であり、神木化されていた（現在、拝所は海側へ移動されている）。
	郷土性※4	
	親近性※5	県道 70 号線（現在の国道 331 号）開設の際に拝所が海側へ移動された後は、日差しを避ける休憩所として親しまれていた <sup>注)</sup> 。
 <p>瀬嵩区公民館から撮影 H20/7/29/11:58</p>		


注)「名護市の名木」(昭和 59 年 3 月、名護市教育委員会)

表-6. 20. 1. 33 景観資源の状況（大浦御嶽のイタジイ林）

資源調査地点		10、13、30
普遍価値	視認性	調査範囲内（陸域）で、可視率7.7%。
	力量性※1	面積0.5ha
固有価値	固有性※2	一帯は粘板岩及び国頭礫層上にリュウキュウマツ林が広く発達し、中央山地のシイ林に連続している。海岸に近いが、山地型植生のシイ林が発達し、その構成種によって多く占有されている <sup>注)</sup> 。
	歴史性※3	大浦集落の御嶽林で、拝殿の周辺には樹高12～13mの高木が見られる <sup>注)</sup> 。
	郷土性※4	
	親近性※5	集落近くの身近な御嶽林として親しまれている。
 <p>大浦川河口から撮影 H20/7/29/10:05</p>		 <p>二見海岸から撮影 H20/7/30/11:35</p>


注)「沖縄大百科事典」(昭和58年5月、沖縄タイムス社)

表-6. 20. 1. 34 景観資源の状況（大浦のアサギ庭のガジマル）

資源調査地点		9
普遍価値	視認性	調査範囲内（陸域）で、可視率2.6%。
	力量性※1	樹高15.5m、胸高直径94cm
固有価値	固有性※2	幹は全体的に東に傾いている。南東に2m隔てて垂下した気根が大径木のフクギを絞めつけ、もとの幹とほぼ同じ太さに発達し5m高で連結している。幹は2m高さで2分岐し、そのうち1つが上部樹幹を形成している。垂下気根はわずかで、多くの気根は幹や枝に巻きついている <sup>注)</sup> 。名護市の天然記念物に指定されている。
	歴史性※3	推定樹齢は110年に及び、地域の歴史を伝える要素となっていると考えられる。
	郷土性※4	大浦集落センター前広場に生育しており、地域のシンボルとして親しまれている。
	親近性※5	
 <p>大浦集落センターから撮影 H20/7/29/10:33</p>		

注)「名護市の名木」(昭和59年3月、名護市教育委員会)

表-6. 20. 1. 35 景観資源の状況（大浦のマングローブ林）

資源調査地点		11
普遍価値	視認性	調査範囲内（陸域）で、可視率 15.5%。
	力量性※1	面積 11.2ha
固有価値	固有性※2	構成種はメヒルギとオヒルギの2種が主である。林縁部や河口の最前縁、林内の河道沿いではメヒルギが優占し、中央部では次第にオヒルギが優占している。 <sup>注)</sup>
	歴史性※3	面積、保存状況の点で、沖縄本島では有数のマングローブ林 <sup>注)</sup> とされており、大浦川河口の古くからの姿を伝える要素でもありとされる。名護市の天然記念物に指定されている。 大浦区集落の主要幹線道路である県道 18 号線沿いにあり、地域のシンボルとなっていると考えられる。
	郷土性※4	大浦区集落の主要幹線道路である県道 18 号線沿いにあり、地域のシンボルとなっていると考えられる。
	親近性※5	大浦区集落の主要幹線道路である県道 18 号線沿いにあり、地域のシンボルとなっていると考えられる。
 <p>大浦のマングローブ林から撮影 H20/7/29/10:16</p>		

注)「沖縄大百科事典」(昭和 58 年 5 月、沖縄タイムス社)

表-6. 20. 1. 36 景観資源の状況（久志公民館のガジマル）

資源調査地点		23
普遍価値	視認性	調査範囲内（陸域）で、可視率 2.8%。
	力量性※1	樹高 8.0m、胸高直径 125cm
固有価値	固有性※2	幹は西に 40° 程度傾き、2m 高でやや上向する。0.5m 高で北にやや水平に伸びる枝を分岐、主幹は 1.5m 高で 3 分岐、全体が北西に斜上向する <sup>注)</sup> 。
	歴史性※3	推定樹齢は 140 年に及び地域の歴史を伝える要素となっていると考えられる。
	郷土性※4	久志公民館前広場に生育しており、地域のシンボルとして親しまれていると考えられる。
	親近性※5	
 <p>久志公民館から撮影 H20/8/2/10:24</p>		

注)「名護市の名木」(昭和 59 年 3 月、名護市教育委員会)

(c) 主要な眺望景観の状況

a) 陸上部

既存調査結果で設定した23地点の主要な眺望点及び視点場から事業実施区域方向への可視範囲と眺望の状況について表-6.20.1.38～表-6.20.1.48に、季節ごと、時間帯ごとの眺めの状況を図-6.20.1.55～図-6.20.1.72に示しました。季節や時間帯の違いによる眺めの変化については、夜間を除いて、大きな違いはみられませんでした。代表として春季昼、夏季朝、昼、夕、夜、降雨時、秋季昼、降雨時、冬季昼の撮影結果を掲載しました。

また、アンケート調査で得られた、眺望点及び視点場ごとの価値を表す要素については表-6.20.1.37に示すとおりです。普遍価値については「浜下り」「夏季」「GW」、固有価値については「海」「朝日」「御嶽」などの要素があげられています。

表-6.20.1.37 眺望点及び視点場ごとの価値を表す要素

No.	地点名	普遍価値	固有価値			備考: 主たる眺望対象
		利用性	固有性	歴史性	郷土性	
1	安部崎		アマモ	タカバカ(風葬墓跡)	タカバカ(風葬墓跡)	平島、長島
2	カヌチャベイホテル&ヴィラズ					平島、長島、久志岳、辺野古岳
3	カヌチャビーチ		夕日、岩礁	琉歌碑		長島、久志岳
4	嘉手苺橋	GW、初夏～12月			岩礁、海、夕日、嘉手苺	長島
5	汀間漁港	GW、土日	長島、平島、米軍施設			長島
6	瀬嵩の浜	夏、GW	朝日	御嶽	海	平島、長島
7	役所前の浜	夏、GW		御嶽	海	平島、長島
8	大浦川河口	夏、昼	砂浜		海	大浦川河口のイタジイ林、長島
9	楚久川河口				海	平島
10	二見海岸		アダンの実、オキナワキョウチクトウ		海	平島、辺野古崎周辺海域
11	基地内広場1					辺野古崎周辺海域
12	基地内広場2		米軍施設			辺野古崎周辺海域
13	基地内サッカー場					長島、安部オール島
14	基地内広場3					辺野古川河口、平島、長島
15	基地内ビーチ					辺野古漁港周辺海域、平島、長島、安部オール島
16	辺野古上原公園		朝日	トウガ、マナーヌ	林、ナメエラー、海、マナーヌ	平島
17	辺野古の浜			アジバカー	林、海	平島、長島
18	加知味崎	夕方		岩礁	岩礁	平島、長島、一ツ岳
19	潟原の干潟		干潟、朝日			平島、長島、安部オール島
20	ヒービィー海岸交流広場	春(浜下り)				平島、長島、安部オール島
21	松田農村公園			埋蔵文化財		大浦川河口
22	国際交流センター	春(浜下り)		埋蔵文化財		平島、長島
23	平島					長島
24	海上					平島、長島、安部オール島

注) 空欄はヒアリングにおいて情報が出なかった項目

表-6.20. 1.38 調査地点ごとの可視範囲と眺望の状況 (1/11)

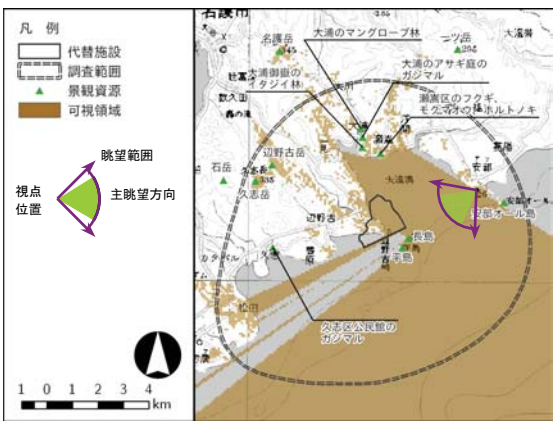
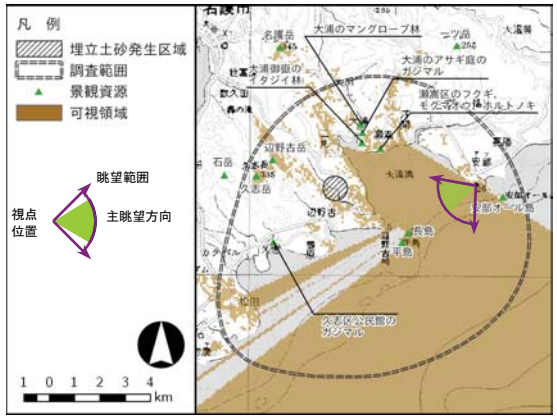
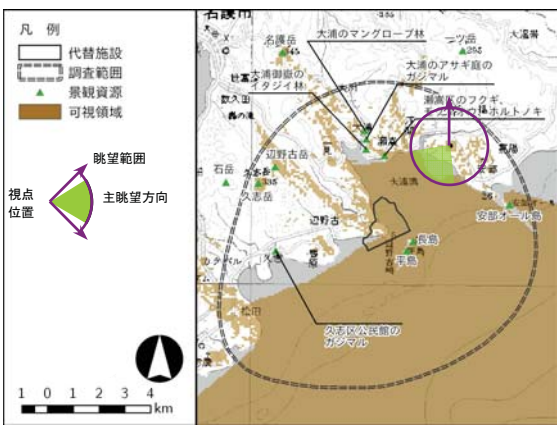
<b>安部崎</b>	
<p>&lt;可視範囲&gt; 代替施設</p> 	<p>&lt;眺望の状況&gt; 視点場は安部区南端、安部崎にある灯台の先にある。海岸部に岩礁が広く分布し、視点場は岩礁近傍の崖上にある。 視点場から南西方向の眺望では、崖上から手前に岩礁、その先には大浦湾と太平洋が広がり、水平線には遠く平島と長島を眺望できるほか、夕日を眺めることができる。また、キャンプ・シュワブのキャンプ地区・弾薬庫地区の東側が見える。代替施設は、平島・長島のすぐ右手に眺望されと考えられる。</p>
<p>埋立土砂発生区域</p> 	<p>&lt;眺望の状況&gt; 視点場から西方向の眺望では、崖の延長上に辺野古崎が位置し、その左手には平島と長島を眺望できるほか、夕日を眺めることができる。また、キャンプ・シュワブのキャンプ地区・演習場地区の南東側・弾薬庫地区の東側が見える。埋立土砂発生区域は、崖地形の延長線上やや左手に、辺野古崎の半島地形上に眺望されと考えられる。</p>
<b>カヌチャベイホテル&amp;ヴィラズ</b>	
<p>&lt;可視範囲&gt; 代替施設</p> 	<p>&lt;眺望の状況&gt; 視点場はリゾート施設であるカヌチャベイホテル&amp;ヴィラズの敷地内北部の高台に位置する。周辺にはリゾート施設の建物やゴルフ用敷地が広がっている。360°の眺望が得られる。 視点場から南西方向の眺望では、手前にリゾート施設が、その先には大浦湾と太平洋が広がり、水平線には遠く平島と長島を眺望できるほか、夕日を眺めることができる。また、キャンプ・シュワブのキャンプ地区・弾薬庫地区・演習場地区の東側が見える。代替施設は、平島・長島のすぐ右手に眺望されと考えられる。</p>

表-6.20.1.39 調査地点ごとの可視範囲と眺望の状況 (2/11)

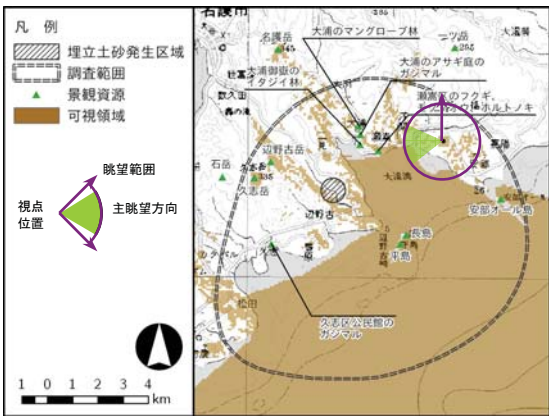
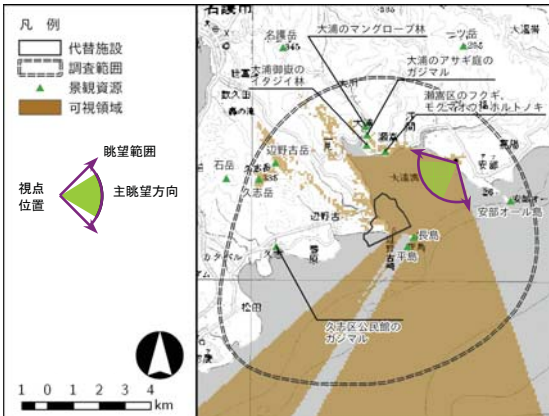
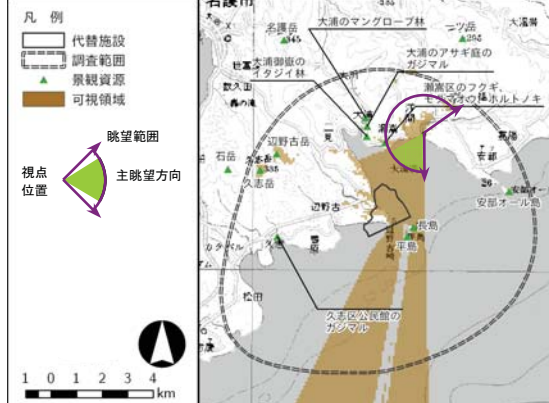
<p>カヌチャベイホテル&amp;ヴィラズ 埋立土砂発生区域</p> 	<p>&lt;眺望の状況&gt; 視点場はリゾート施設であるカヌチャベイホテル&amp;ヴィラズの敷地内北部の高台に位置する。周辺にはリゾート施設の建物やゴルフ用敷地が広がっている。360°の眺望を得られる。 視点場から西方向の眺望では、手前にリゾート施設が見え、その先に大浦湾が広がり、大浦湾右手には幾重にもせり出した岬と、遠く久志岳と辺野古岳を眺望することができるほか、夕日を眺めることができる。また、キャンプ・シュワブのキャンプ地区・弾薬庫地区・演習場地区の東側が見える。埋立土砂発生区域は、久志岳・辺野古岳の左手前の半島地形上に眺望されると考えられる。</p>
<p>カヌチャビーチ &lt;可視範囲&gt; 代替施設</p> 	<p>&lt;眺望の状況&gt; 視点場はリゾート施設であるカヌチャベイホテル&amp;ヴィラズの敷地内南部の海沿いに位置する。リゾートビーチとなっており、背後にはリゾート施設の宿泊施設が建っている。 視点場から南西方向の眺望では、眼前一面に大浦湾が広がり、水平線上には遠く平島と長島を、また右手に久志岳を眺望できるほか、夕日を眺めることができる。また、キャンプ・シュワブのキャンプ地区・弾薬庫地区・演習場地区の東側が見える。代替施設は、平島・長島のすぐ右手、久志岳の左方向に眺望されると考えられる。</p>
<p>嘉手苧橋 &lt;可視範囲&gt; 代替施設</p> 	<p>&lt;眺望の状況&gt; 視点場は国道331号に連結する嘉手苧橋の橋下にあり、汀間川河口部に位置する。汀間区集落に程近い。 視点場から南南西方向の眺望では、左手に社寺林が、右手には汀間川河口部が見え、正面には大浦湾、水平線上には長島を眺望できるほか、夕日を眺めることができる。また、キャンプ・シュワブのキャンプ地区の東側の一部が見える。代替施設は、長島のすぐ右手に眺望されると考えられる。</p>

表-6.20.1.40 調査地点ごとの可視範囲と眺望の状況 (3/11)

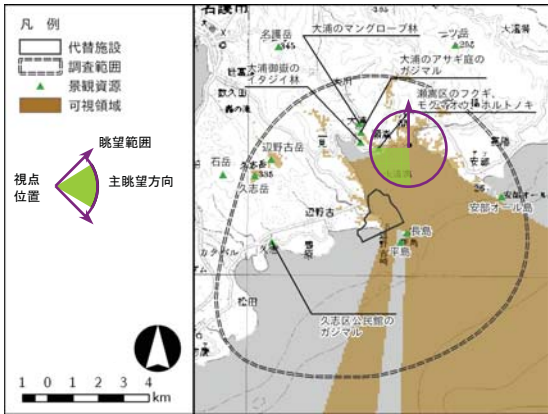
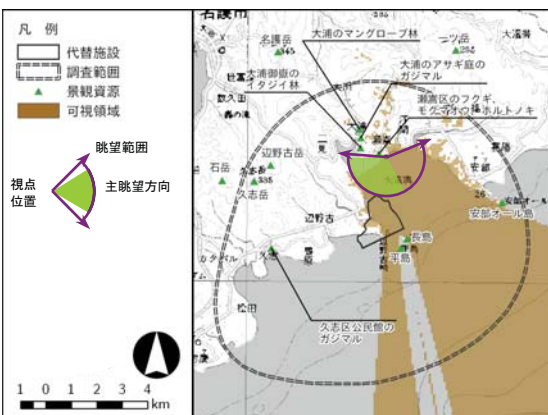
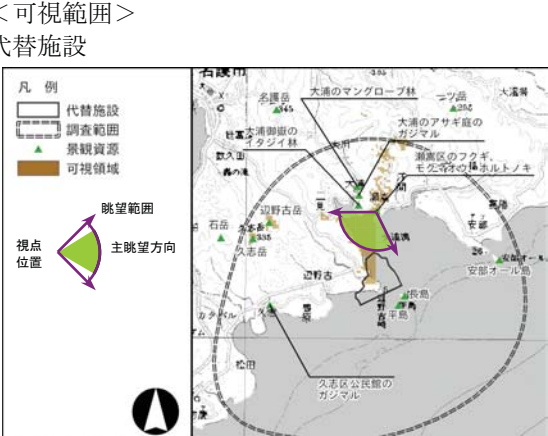
<p>汀間漁港</p> <p>&lt;可視範囲&gt; 代替施設</p> 	<p>&lt;眺望の状況&gt; 視点場は汀間漁港の棧橋にあり、大浦湾内に位置する。汀間区集落に程近い。 視点場から南西方向の眺望では、眼前に大浦湾が広がり、その先には辺野古崎一帯の半島が見え、水平線上には平島・長島を眺望できるほか、夕日を眺めることができる。また、キャンプ・シュワブのキャンプ地区・弾薬庫地区・演習場地区の東側が見える。代替施設は、平島のすぐ右手に眺望されると考えられる。</p>
<p>瀬嵩の浜</p> <p>&lt;可視範囲&gt; 代替施設</p> 	<p>&lt;眺望の状況&gt; 視点場は瀬嵩区集落の南部に位置し、国道 331 号からすぐの海岸である。瀬嵩区集落に程近く、瀬嵩御宮と御嶽の東に隣接する。 視点場から南南西方向の眺望では、眼前一面に大浦湾が広がり、手前に海成段丘（サンゴ礁段丘）の岩礁が、右手には辺野古崎一帯の半島が見え、水平線上に平島と長島を眺望できる。また、キャンプ・シュワブのキャンプ地区・弾薬庫地区・演習場地区の東側が見える。代替施設は、平島・長島のすぐ右手に眺望されると考えられる。</p>
<p>役所前の浜</p> <p>&lt;可視範囲&gt; 代替施設</p> 	<p>&lt;眺望の状況&gt; 視点場は瀬嵩区集落の南部に位置し、国道 331 号からすぐの海岸である。瀬嵩区集落に程近く、瀬嵩御宮と御嶽の西に隣接する。 視点場から南南西方向の眺望では、眼前に大浦湾が広がり、左手に御嶽が、右手に辺野古崎一帯の半島が見え、水平線上には平島と長島を眺望できる。また、キャンプ・シュワブのキャンプ地区・弾薬庫地区・演習場地区の東側が見える。代替施設は、平島・長島のすぐ右手に眺望されると考えられる。</p>

表-6.20.1.41 調査地点ごとの可視範囲と眺望の状況 (4/11)

二見海岸	
<p>&lt;可視範囲&gt; 代替施設</p>	<p>&lt;眺望の状況&gt; 視点場は二見区集落（南側）の東部に位置し、国道 331 号からすぐの海岸である。二見コミュニティセンター先の崖を降りた先の海岸にある。 視点場から南東方向の眺望では、眼前に大浦湾が広がり、右手に辺野古崎一帯の半島の山林が見え、水平線上には長島を眺望できるほか、朝日を眺めることができる。キャンプ・シュワブ自体は見えない。代替施設は、長島の手前に眺望されると考えられる。</p>
大浦川河口	
<p>&lt;可視範囲&gt; 代替施設</p>	<p>&lt;眺望の状況&gt; 視点場は大浦区集落のすぐ西に位置し、大浦川河口部の大浦橋の橋下にある。周囲を山林に囲まれ、大浦湾に隣接する。 視点場から南南西方向の眺望では、眼前一面に山林と大浦川河口部、大浦湾が広がるほか、夕日を眺めることができる。キャンプ・シュワブ自体は見えない。代替施設は、地形に遮られ眺望できないものと考えられる。</p>



表-6.20.1.42 調査地点ごとの可視範囲と眺望の状況 (5/11)

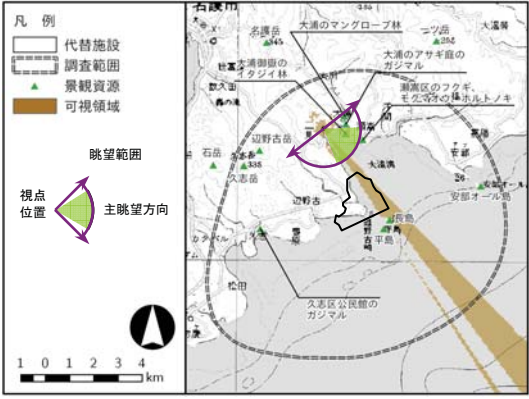
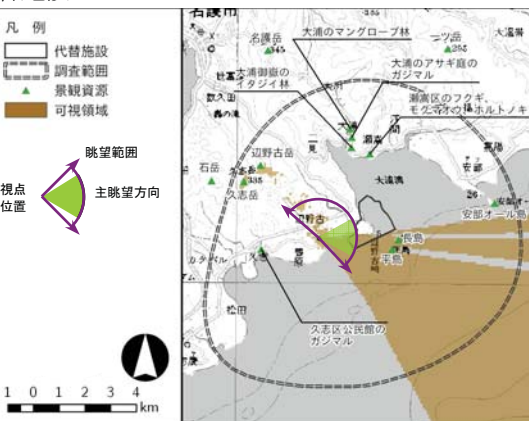
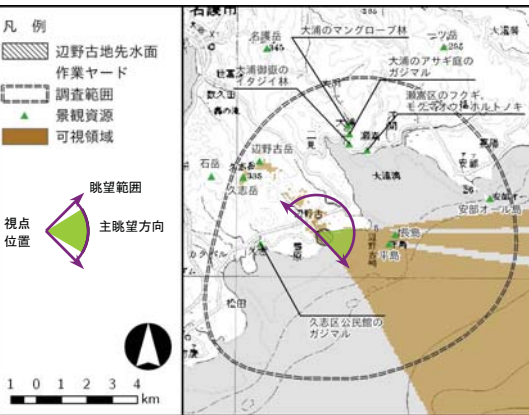
<p>楚久川河口</p> <p>&lt;可視範囲&gt;</p> <p>代替施設</p> 	<p>&lt;眺望の状況&gt;</p> <p>視点場は二見区集落（北側）の南部に位置し、国道 331 号に隣接する公園のすぐ下の干潟上にある。周囲を山林に囲まれ大浦湾に隣接する。視点場から南東方向の眺望では眼前に楚久川河口の干潟が広がり、視野両端には山林が見え、水平線上には平島と長島を眺望できる。キャンプ・シュワブ自体は見えない。代替施設は長島のすぐ右側に眺望されると考えられる。</p>
<p>辺野古前上原公園</p> <p>&lt;可視範囲&gt;</p> <p>代替施設</p> 	<p>&lt;眺望の状況&gt;</p> <p>視点場は辺野古区中心部の南部に位置し、県道 13 号線からすぐの位置にあり、辺野古漁港に程近い。辺野古前上原公園内の高台にある。</p> <p>視点場から東方向の眺望では、手前に辺野古川河口部と河川敷が、その先左手には辺野古集落と山林が、右手には辺野古漁港と神社が見え、奥に太平洋を、水平線上に平島と長島を眺望できるほか、朝日を眺めることができる。キャンプ・シュワブ自体は見えない。代替施設は、平島・長島の手前に眺望されると考えられる。</p>
<p>作業ヤード</p> 	<p>&lt;眺望の状況&gt;</p> <p>視点場は辺野古区中心部の南部に位置し、県道 13 号線からすぐの位置にあり、辺野古漁港に程近い。辺野古前上原公園内の高台にある。</p> <p>視点場から南南東方向の眺望では、手前に辺野古川河口部と河川敷が、その先左手には山林と辺野古港、中央には神社、右手には岬の突端が見え、左手奥に平島、長島が見える。朝日を眺めることができる。キャンプ・シュワブ自体は見えない。作業ヤードは、手前すぐ眼下の河川敷から神社向こうまで、直近の視野いっぱいには眺望されると考えられる。</p>

表-6.20.1.43 調査地点ごとの可視範囲と眺望の状況 (6/11)

<p>辺野古の浜</p>	
<p>&lt;可視範囲&gt; 代替施設</p>	<p>&lt;眺望の状況&gt; 視点場は辺野古区南部にある農地の先に位置し、辺野古漁港に程近い海岸である。近隣には農地が広がっている。 視点場から東方向の眺望では、眼前一面に太平洋が広がり、左手に辺野古漁港の栈橋が見え、水平線上に平島と長島を眺望できるほか、朝日を眺めることができる。また、キャンプ・シュワブのキャンプ地区の南側の一部が見える。代替施設は、平島・長島の手前に眺望されると考えられる。</p>
<p>作業ヤード</p>	
<p>凡例 辺野古地先水面 作業ヤード 調査範囲 景観資源 可視領域</p>	<p>&lt;眺望の状況&gt; 視点場は辺野古区南部にある農地の先に位置し、辺野古漁港に程近い海岸である。近隣には農地が広がっている。 視点場から東北東方向の眺望では、手前から左手に砂浜と岬、中央に辺野古漁港の栈橋を望み、栈橋の右手には水平船上に平島、長島が見えるほか、朝日を眺めることができる。また、キャンプ・シュワブのキャンプ地区の南側の一部が見える。作業ヤードは、辺野古漁港の栈橋付近に眺望されると考えられる。</p>
<p>加知味崎</p>	
<p>&lt;可視範囲&gt; 代替施設</p>	<p>&lt;眺望の状況&gt; 視点場は久志区南部にある農地の先にある加知味崎に位置する海岸である。 視点場から東北東方向の眺望では、加知味崎の浜辺と右手に太平洋が広がり、水平線上に平島を眺望できるほか、朝日を眺めることができる。キャンプ・シュワブ自体は見えない。代替施設は、平島のすぐ左手に眺望されると考えられる。</p>

表-6.20.1.44 調査地点ごとの可視範囲と眺望の状況 (7/11)

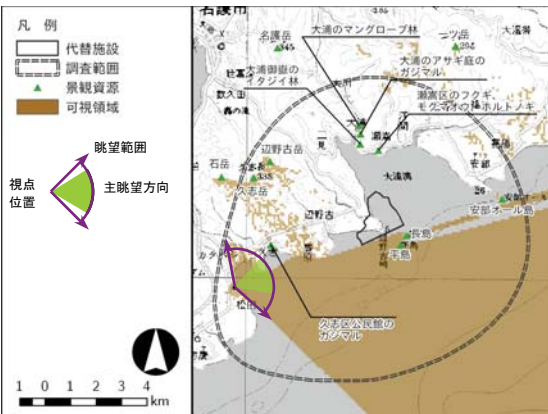
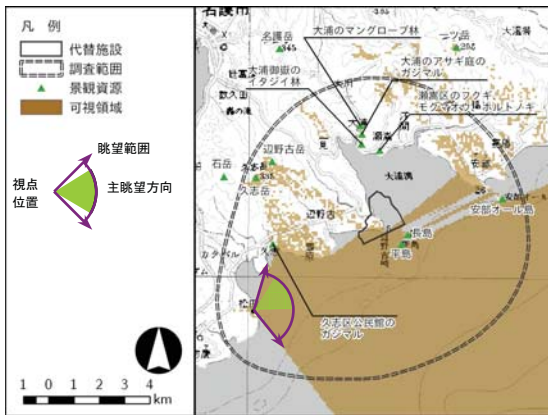
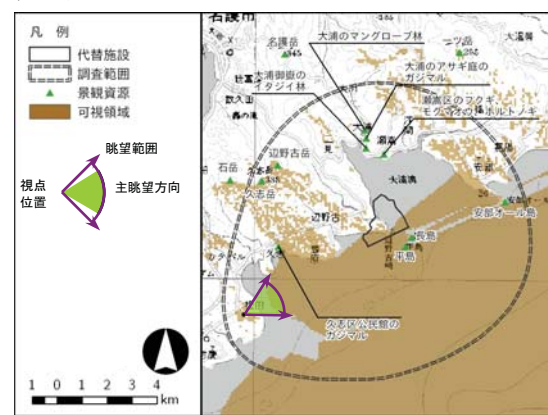
<p>潟原の干潟</p>	
<p>&lt;可視範囲&gt; 代替施設</p> 	<p>&lt;眺望の状況&gt; 視点場は松田区にある宜野座カントリークラブの入り口付近に位置し、海岸に沿った国道329号沿いの歩道上にある。 視点場から東北東方向の眺望では、眼前に太平洋と潟原の干潟が広がり、左手に加知味崎が見え、水平線上に平島と長島を眺望できるほか、朝日を眺めることができる。キャンプ・シュワブ自体は見えない。代替施設は、平島・長島のすぐ左手に眺望されると考えられる。</p>
<p>ヒーヒー海岸交流広場</p>	
<p>&lt;可視範囲&gt; 代替施設</p> 	<p>&lt;眺望の状況&gt; 視点場は松田区南東部の海岸沿いに位置し、ヒーヒー海岸交流広場内にある。 視点場から北東方向の眺望では、眼前に太平洋が広がり、左手に豊原区・辺野古区・安部区の半島が見え、左手遠方に一ツ岳を、水平線上に遠く平島と長島を眺望できるほか、朝日を眺めることができる。また、キャンプ・シュワブのキャンプ地区の南側が見える。代替施設は、一ツ岳の右手、平島・長島のすぐ左手に眺望されると考えられる。</p>
<p>松田農村公園</p>	
<p>&lt;可視範囲&gt; 代替施設</p> 	<p>&lt;眺望の状況&gt; 視点場は松田区南部の区中心部に位置し、松田区公民館に隣接する松田農村公園内の高台にある。 視点場から北東方向の眺望では、眼前一面に農地が広がり、中央遠方に太平洋が見え、水平線上に平島と長島、安部オール島を眺望できるほか、朝日を眺めることができる。また、キャンプ・シュワブのキャンプ地区の南側が見える。代替施設は、平島・長島・安部オール島のすぐ左手に眺望されると考えられる。</p>

表-6.20.1.45 調査地点ごとの可視範囲と眺望の状況 (8/11)

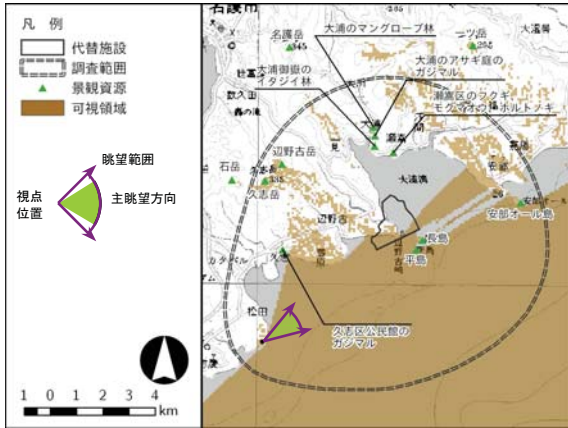
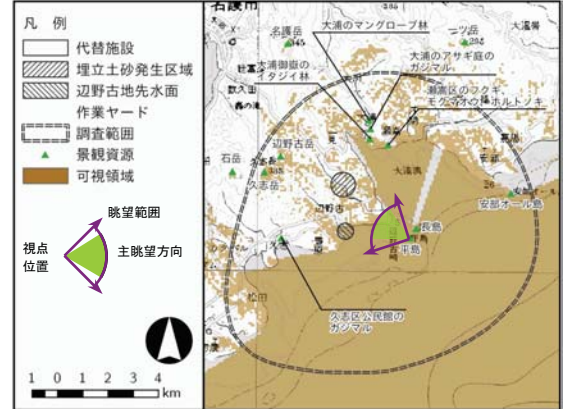
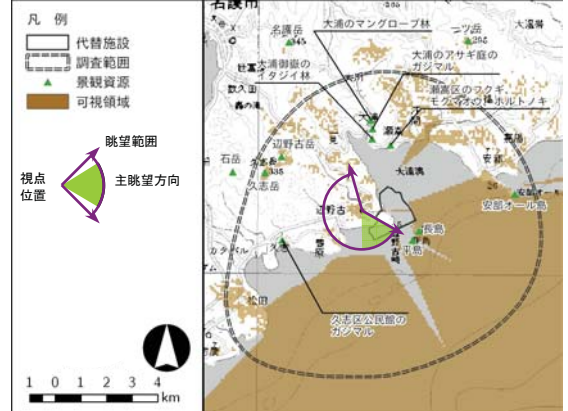
<p>国際交流センター</p> <p>&lt;可視範囲&gt; 代替施設</p> 	<p>&lt;眺望の状況&gt;</p> <p>視点場は松田区南部に位置し、国際交流センター敷地内の海岸沿いの高台にある。周囲を林に囲まれている。</p> <p>視点場から北東方向の眺望では、手前に林が見え、中央奥に太平洋が広がり、水平線上に平島と長島、安部オール島を眺望できるほか、朝日を眺めることができる。また、キャンプ・シュワブのキャンプ地区の南側の一部が見える。代替施設は、平島・長島・安部オール島のすぐ左手に眺望されると考えられる。</p>
<p>平島</p> <p>&lt;可視範囲&gt; 代替施設</p> 	<p>&lt;眺望の状況&gt;</p> <p>視点場は辺野古区南端、辺野古崎にある灯台の沖に位置している。海岸部には砂浜が広く分布し、視点場はその砂浜上にある。</p> <p>視点場からは、キャンプ・シュワブのキャンプ地区が見え、代替施設も同方向に眺望されると考えられる。</p>
<p>米軍施設内広場 1</p> <p>&lt;可視範囲&gt; 代替施設</p> 	<p>&lt;眺望の状況&gt;</p> <p>視点場はキャンプ・シュワブのキャンプ地区に位置し、ゲートのすぐ近くにある。辺野古崎まで続く主要道路沿いにある。</p> <p>視点場から南東方向の眺望では、施設と主要道路が見え、主要道路の先遠方に太平洋が広がり、水平線上に平島を眺望できる。代替施設は、平島の手前に眺望されると考えられる。</p>

表-6.20.1.46 調査地点ごとの可視範囲と眺望の状況 (9/11)

米軍施設内広場 2	
<p>&lt;可視範囲&gt; 代替施設</p>	<p>&lt;眺望の状況&gt; 視点場はキャンプ・シュワブのキャンプ地区に位置し、代替施設近傍の高台にある。北東方向には樹林が広がる。 視点場から南東方向の眺望では、施設・駐車場・道路の他に芝生広場が見え、その先に太平洋が広がり、水平線上に平島を眺望できる。代替施設は、平島の手前に眺望され、視野を超える範囲に広がると考えられる。</p>
<p>作業ヤード</p>	<p>&lt;眺望の状況&gt; 視点場はキャンプ・シュワブのキャンプ地区に位置し、代替施設近傍の高台にある。北東方向には樹林が広がる。 視点場から西方向の眺望では、施設・駐車場・道路の他に芝生広場が見え、その先に太平洋が広がっている。作業ヤードは、視野中央の洋上に眺望されると考えられる。</p>
米軍施設内サッカー場	
<p>&lt;可視範囲&gt; 代替施設</p>	<p>&lt;眺望の状況&gt; 視点場はキャンプ・シュワブのキャンプ地区に位置し、代替施設近傍高台のサッカー場敷地内にある。周囲には樹林が広がる。 視点場から南東方向の眺望では、一面にサッカー場の芝生が広がり、眼前に樹林、その先に太平洋が広がっている。代替施設は、眼前の樹林の先に眺望されると考えられる。</p>

表-6.20.1.47 調査地点ごとの可視範囲と眺望の状況 (10/11)

<p>米軍施設内サッカー場 作業ヤード</p>	<p>&lt;眺望の状況&gt;                  視点場はキャンプ・シュワブのキャンプ地区に位置し、代替施設近傍高台のサッカー場敷地内にある。周囲には樹林が広がる。                  視点場から南西方向の眺望では、一面にサッカー場の芝生が広がり、左手に樹林が見え、その先に太平洋が広がり、視野中央に辺野古漁港が見える。作業ヤードは、辺野古漁港付近に眺望されると考えられる。</p>
<p>米軍施設内広場3 &lt;可視範囲&gt; 代替施設</p>	<p>&lt;眺望の状況&gt;                  視点場はキャンプ・シュワブのキャンプ地区に位置し、代替施設近傍のサッカー場の南にある。周囲には芝生広場が広がる。                  視点場から南南東方向の眺望では、手前左手に芝生広場、手前中央に低木類（チガヤ、ギンネム、モクマオウ類）、奥左手に樹林が見え、右手に太平洋が広がっている。代替施設は、視野中央の洋上に眺望されると考えられる。</p>
<p>作業ヤード</p>	<p>&lt;眺望の状況&gt;                  視点場はキャンプ・シュワブのキャンプ地区に位置し、代替施設近傍のサッカー場の南にある。周囲には芝生広場が広がる。                  視点場から南西方向の眺望では、手前右手に低木類（モクマオウ類、リュウキュウマツ）、中央付近に辺野古港が見え、左手に砂浜と太平洋が広がっている。作業ヤードは、視野中央の辺野古漁港付近に眺望されると考えられる。</p>

表-6.20.1.48 調査地点ごとの可視範囲と眺望の状況 (11/11)

